

報道機関各位

熊本大学

第2回熊本大学 X-Earth センター市民向け講演会
地球を丸ごと見てみよう - 未来を貫くエックス線 CT -
「エックス線CTでみるアシュラの健康状態」を開催します

X線CTスキャナは、現在、自然科学のみならず人文科学を含めたあらゆる科学研究の分野に応用され、成果を挙げるとともに、精密機器生産工場や医療現場をはじめとする実社会においてもきわめて重要な役割を果たしています。熊本大学では、このX線CTの技術を地球規模の環境問題に役立てるべく、2008年11月に、「X-Earthセンター」を開設し、世界中の大学や研究機関と連携し研究・教育を進めてまいりました。

さる7月25日には、その今日的な科学的・社会的意義を小学生～高校生または一般市民にわかりやすく説明するために、市民向けの講演会を開催いたしました。この講演会では、文化財・地質学・環境工学の分野でのX線CTの利用の実際を講演でお伝えしたのみでなく、子供たちの科学離れが進行する中で、科学に興味をもってもらい、将来の研究者を育成する契機とすべく、県内の小中学校の児童・生徒たちによる研究成果を合わせて発表いたしました。

今回はその第2回目として、文化財におけるX線CTの利用にスポットを当て、九州国立博物館で9月末まで展示され、多くの人の関心を集めた興福寺の阿修羅のX線CT撮影をされた九州国立博物館の今津節生(いまず せつお)氏をお招きして、阿修羅の健康状態に関するご講演をいただきます。また、併せまして考古学の分野への応用の可能性についての講演を準備しております。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

記

【日 時】平成21年11月3日(祝)13:00~15:30

【場 所】熊本大学工学部1号館2階 共用会議室A(熊本市黒髪2丁目39番1号)

【プログラム】13:10~13:30 椋木 俊文(熊本大学工学部:准教授)

エックス線CTとは何か

13:30~14:10 小畑 弘己(熊本大学文学部:准教授)

縄文人は農耕を行ったか? - 縄文土器は情報の玉手箱 -

14:20~15:10 今津 節生(九州国立博物館:博物館科学課環境保全室長)

阿修羅の健康診断

【参加対象】どなたでも

【参加費】無 料

ホームページにも掲載しています。

<http://www.civil.kumamoto-u.ac.jp/x-earth/Social/kouenkai-2009-2.html>

【お問い合わせ先】

熊本大学埋蔵文化財調査室

X-Earthセンター第2回市民向け講演会係

T E L : 096-342-3832

熊本大学黒髪地区キャンパス位置図



工学部1号館2階
共用会議室A
平成21年11月3日(祝)
13:00~15:30